

平成25年度

理事会（第4回）

議事録

平成26年3月1日（土）

山口県介護支援専門員協会

平成25年度 山口県介護支援専門員協会 理事会
議事録

1 日 時

平成26年3月1日(土) 午後1時から午後3時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク 社会福祉研修室

3 出席者

(1) 理事

定数 31名

出席者数 23名(うち委任状出席5名)

出席者名

佐々木啓太	藤本邦和	松谷法史	山本史彦	林浩二
阿部頼江	堀田慎一郎	横山具寛	渡邊康浩	松井康博
藤本真樹	福井治枝	鬼木泰子	守田由起子	関永里美
河本好英	松井清之	板垣智子		

委任状出席者

橘康彦	木村友和	頃末能宏	岩本裕子	山本太郎
-----	------	------	------	------

(2) 監事

定数 2名

出席者数 1名

出席者名

廣兼裕之

(3) 顧問

定数 1名

出席者数 0名

(4) 事務局

福祉人材研修部 主事 川崎真由美 職員 福本かおる

4 報告事項

各部会からの報告について
予算執行状況について

5 上程議案

第1号議案 平成26年度計画(案)について
・事業方針、事業内容、各部活動内容

第2号議案 平成26年度役員体制について

第3号議案 平成26年度予算(案)について

第4号議案 平成26年度ケアマネジメント研究大会について

第5号議案 細則変更について

6 審議の経過

佐々木会長

本日の理事会議事録署名人の選出について、次の理事を指名し、
両名の承諾を得た。

藤本真樹

板垣智子

挨拶の後、各部会からの報告について各部部長より報告いただく。

堀田理事 広報事業部の活動について部会を年間3回開催した。広報誌の発行について第2号を3月中旬に発行予定としており、記事についてはケアマネジメント研究大会の記事を中心に構成している。

HPの運用について、書籍販売のコーナーを設け、中央法規出版発行の書籍に関してのみ会員の方は5%引きで購入できるコンテンツを作成している。

趣味活動の企画については会員の方との交流を図ることを目的に、5月に鳳翔山登山を行い、第2弾として3月15、16日の日程で長門市一位ヶ岳登山を企画している。登山後に坂倉旅館を予約しているので、宿泊希望者について3月10日頃まで申込みを継続する。

次年度について協会だよりは例年通り年2回の発行、HPのコンテンツの充実、趣味活動についても登山以外でも企画をしていけるよう活動していく。

佐々木会長 広報誌広告について役員の方にお声掛けいただき、多数掲載いただいているので、今後ともご協力をお願いしたい。

松井理事 公益事業部については今年度3つの項目に重点を置いて活動を行った。

情報伝達、広報機能の充実について、社会資源情報をわかりやすく伝える方法として、HP上に「お役立ち情報」を作成し、行政、社会福祉協議会等のHPにリンクを貼り、申請書のダウンロード先等社会資源情報にたどり着けるような仕組みを作っている。

意見集約、意見提言について、「県協会からのおねがいアンケート」を研修会、広報誌の発送にあわせ配布し、現場のケアマネジャーの声、情報を集めている。アセスメント・モニタリングのシートを協会独自で準備して欲しいとの意見についての対策として、著作権の支障がないことを前提にHPで紹介できるものがあれば掲示する。住宅改修理由書を報酬化して欲しい、軽度者の福祉用具レンタルの利用、デイサービス2時間未満の入浴の利用が認められようにして欲しいとの意見についての対策としては、日本協会の会議で取り上げていただく必要があるかを県協会で検討し、必要性がある意見については県協会の意見として日本協会へ挙げていく。

緊急時対応、防災対策について県内5カ所で災害机上訓練を行った。室内でグループを作り、災害が起こる事前準備、起こった際のケアマネジャー、その他事業所、行政等の立場の対応についてイメージできるよう実施した。山口県版の災害時対応マニュアルの作成が現状難しく、日本協会で作成された災害マニュアルを活用し、山口県版として使用できるように付け加えを行っている。災害対策の研修会を実施するためのデータを作成しているので、次年度活用しながら内容については検討していく。

佐々木会長 各地域で机上訓練が行える仕組みを作っていたので、次年度について引き続き松井理事に公益事業部へ残って机上訓練の内容を充実させていただきたいが、講師としてお願いする体制作りができるよう検討していく。いずれは各地域で机上訓練が行えるようにしていただきたい。

松谷理事 組織総務部では楽しみのある会作りを目的として、地域のお祭りに参加し、他地域の協会会員との交流を深め、ケアマネジメント研究大会で2年がかりの企画として全会員が参加できる抽選会を行った。その他永年表彰式等新しいプログラムも充実し多数の参加をいただい

た。次年度は中国ブロック大会になるので、大会の盛り上がりに繋がるよう、今後も抽選会を続けていきたいと考えている。

佐々木会長 調査研究部では会員数の減少、県協会の原点に戻って現状と課題についてアンケート調査を行い、介護保険研究大会で発表していただいた。県医師会で作成されているケアマネタイムの活用状況についてもアンケート調査を行い、結果について集約している。結果については医師会にフィードバックを行っている。

生涯研修部の報告について、各研修概ね定員を超える参加をいただき好評であった。アンケート結果をもとに企画し、研修費が高い等の意見については、デイサービス協議会との共催研修、ALS 研修会の2研修で補助金を申請し参加費無料、定額の形で開催した。次年度について中国ブロックも兼ねる研究大会で共同募金会の助成金申請を行っている。

松谷理事 続いて予算執行状況について藤本事務局長より報告いただく。

藤本事務局長 収入の部については、ほぼ補正予算通りに執行している。支出の部の会議費について常任、理事会の開催が1回ずつ減っていることと、出席率が低かったため減額することが出来た。事業費については研修の経費を削減し減額出来ている。単年度で250万円程度黒字となっているが、今後の検討として、法人化に向けて動くことを視野に入れ、27年度より研修体系が変わり実務従事者基礎研修がなくなり、補助金額が減るため、蓄えが必要となってくる。橘副会長へ会の規模にあった適正な予備費の額を日本協会へ確認していただく。

佐々木会長 次年度の活動に必要な蓄えとして、会計上の扱いについて日本協会の公認会計士へ確認いただく。

松谷理事 続いて第1号議案平成26年度計画（案）について佐々木会長に説明をいただく。

佐々木会長 収支的には厳しい状況でのスタートであったが、会費の値上げ、研修等で経費削減に協力をいただき、体力をつけることができた。制度改正、ケアマネジャーを取巻く環境が変わる中で、県協会がどのような活動をしていくべきか意見をいただきたい。方針として地域包括ケアシステムの構築が強く掲げられており、連携の大切さ、ケアマネジャーの役割、資質が重要となってくる。研修のあり方も重要となってくるので、法定研修を委託出来る体制作りとして法人化を視野に具体的にスケジュールを策定し準備を進めていく。県社協とも協議し、事務局についても検討していく。

今後も地域協会との相互交流を活性化させるとともに、楽しみが共有できる活動を目指していく。次年度は中国ブロック大会なので会員が盛り上げる研修を組み立てていく。

調査研究部では介護保険の制度等現状を分析し、分かり易い形で会員へ伝える仕組みを作っていた。

研修の連携強化、相互乗入れを広島県、島根県と行ったが、福岡県とも相互乗入れが出来るよう連携を進めていく。

松谷理事 第1号議案平成26年度計画（案）について質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。

続いて第2号議案平成26年度役員体制について説明をいただく。

佐々木会長 次年度の役員体制について、前回の理事会で報告したが、もう一期継続して会長を考えているので、立候補させていただきたい。経費面もあり、今期については会長推薦枠をあまり取っていないが、各地域で理事に推薦いただける方については積極的に役員をお願いしていきたい。理事について次年度引き続き残っていただける方については何名か確認している。橘副会長については日本協会の研修担当理事でもあるので引き続きお願いしたい。木村副会長については諸事情もあるとのことで協議し、事務局長については次年度も引き続きお願いしたい。

鬼木理事 各部の編成について地域毎でまとめた方が集まりやすいので次年度もこの形がよい。

佐々木会長 各部の編成について活動がしやすくなるよう検討していく。

松谷理事 第2号議案平成26年度役員体制について質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。
続いて第3号議案平成26年度収支予算（案）について説明をいただく。

藤本事務局長 平成26年度収支予算(案)について説明。
研修で助成金を申請しているので確定後、補正予算を組んでいく。

事務局 平成27年度は実務研修に基礎研修が統合されるとの案が出ており、基礎研修の補助金は次年度限りになる。

佐々木会長 次年度は収支状況を確認しながら、会員へお返しできるよう執行していく。

松谷理事 第3号議案平成26年度収支予算(案)について質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。
続いて第4号議案平成26年度ケアマネジメント研究大会について説明をいただく。

佐々木会長 次年度は中国ブロック大会となり、10月18日（土）、19日（日）の2日間の日程で山口県セミナーパーク講堂を押さえている。
中国ブロックは広島、島根、山口の3県で回しており、今年度島根県で開催されたブロック大会は他県からの参加が少なかった。他県からも多数参加していただけるよう周知していく。下関で開催したブロック大会では実行委員を立ち上げて運営を行ったが、今年度同様組織総務部と三役で運営していく。当事者、市民の方にも参加いただける研修にしたいので、内容については今後決めていくが、1日は日本協会が「医療支援のニーズとポイント」という本を作成しているので、日本協会から講師をお願いし、本を中心とした医療との連携研修をお願いする。

松谷理事 研究発表について今年度発表していない地域へお願いしていくので早目の準備をお願いする。当日の運営についてもご協力いただきたい。

第4号議案平成26年度ケアマネジメント研究大会について質疑

を求めたが 特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。続いて第5号議案細則変更について説明をいただく。

佐々木会長 平成26年度より役員旅費について1キロ30円に変更することを承認いただく。細則の変更については理事会の承認となるので今年度中に確定し、次年度4月から施行できる形としていきたい。予算組も余裕をみて組んであるので変更の必要はない。

松谷理事 第5号議案細則変更について質疑を求めたが 特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。続いてその他について説明をいただく。

佐々木会長 会員申込書について新規、継続、変更の様式を県協会で統一した。継続入会様式に関しては会員の情報を申込書に反映できるデータとなっており、申込みの際、変更の情報のみ記載できる様式となっている。会員、事務局の方の負担を減らせるよう作成しているので、各地域協会で使用していただきたい。

県長寿社会課より常任理事会の際「地域主権推進一括法」等の施行に伴う県条例の制定について説明があった。指定居宅介護支援事業所等の事業の人員及び運営に関する基準について国が定めていた条例を県で制定することとなり、参酌すべき基準について県協会へ意見を求められている。意見についての根拠づけも必要となる。5月から6月にパブリックコメントを実施されるので、各地域協会より5月上旬までに意見を出していただき、県協会でもまとめ県へ挙げていく。

厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準について一部改正案が出ており、27年度からの研修カリキュラムの変更があるが、県協会は研修の委託団体ではないので、各ケアマネジャー個人として研修体系の意見については出していただく。

広報誌の発送があるので県、国からの文書について分かり易いものを作成し会員宛に配布する。

事務局 今年度会議出席に係る旅費の振込について、振込通知を配布している。4か月毎にまとめて振込を行うことについては次年度も同じようをお願いしたい。振込通知について振込後その都度通知して欲しいとの意見があるので、その都度の通知がよいか、年度末の会議後に年1回まとめたものを通知したもので良いか意見をいただく。

佐々木会長 今年度の会議の旅費の振込を一覧にしたものを渡しているが、事務局の負担的もあるので、事務局的には年に1回の通知が良いと思うが、その都度の方がよいか。今回配布したものが年間の会議についてまとめたもので分かり易いがその辺りについて意見を伺う。

鬼木理事 年一回の通知で問題ないと思う。

松谷理事 その都度必要な方へのみ通知したので良いのではないかと。

佐々木会長 年一回の通知で良いとの意見が多いので、必要な方についてはその都度通知することで対応していただく。

と き 午後3時15分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成 26 年 3 月 1 日

山口県介護支援専門員協会

議 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印